

釜石市国際外語大学校

～龍澤学館と釜石市の連携～

釜石市産業振興部

1 龍澤学館について

昭和28（1953）年創立の教育・人材育成事業、福祉事業、地方創生事業を行う盛岡市を本拠としたグループ。

学校法人龍澤学館

盛岡中央高等学校

盛岡中央高等学校附属中学校

幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園保育園

企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園

専修学校 盛岡中央ゼミナール

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

盛岡外語観光&ブライダル専門学校

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

盛岡公務員法律専門学校

盛岡ペットワールド専門学校

盛岡看護医療大学校 ほか

社会福祉法人 盛岡ひまわり会

緑が丘ひまわり保育園

盛南ひまわり保育園

グループ関連企業

株式会社エムシーエス生涯学習センター（M進）

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

国際情報ビジネス協同組合 ほか

引用：学校法人龍澤学館HP

2 経緯（1）

平成24（2012）年10月、復興の促進に資するため、生涯学習や産業振興に向けた学校法人龍澤学館との「**震災復興支援協定**」締結。

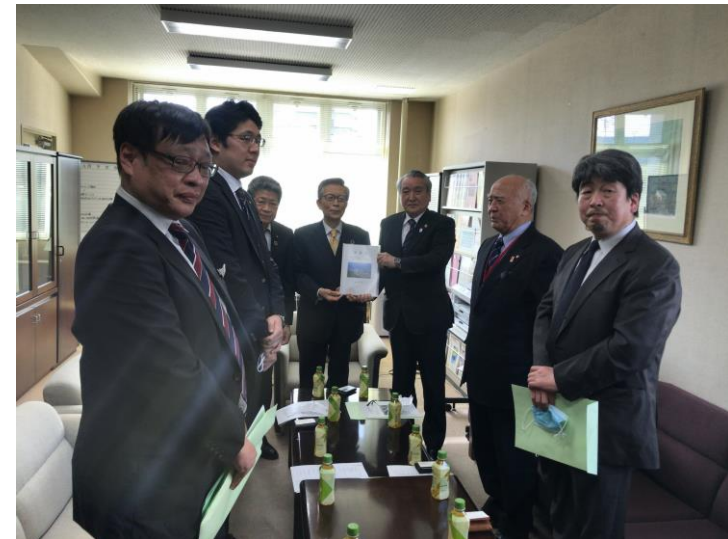
<震災復興に関する取組事例> ※一部

- ・甲子柿や菊芋のレシピ考案、料理教室の開催
- ・日本語学科ベトナム人留学生との料理教室交流
- ・仮設住宅や集会所で行われた交流イベント
- ・介護福祉系ミニサロン
- ・盛岡中央高校と姉妹校留学生の方々による学校訪問

2 経緯（2）

- これまでの協働を下地にした意見交換の中、市の課題「人口減少・少子高齢化」、「地方創生」、「人材育成」等への連携対応策として高等教育機関設置可能性の検討を開始。
- 令和3（2021）年3月19日、龍澤学館へ市・市議会・医師会・商工会議所による「釜石市への高等教育機関の設置に関する要望書」提出。

学校法人 龍澤学館
Tatsuzawa Education Group



3 包括連携協定締結（1）

その後も意見交換を重ね、令和3（2021）年9月6日、既存の震災復興支援協定を変更更新する形で、地方創生やSDGsの推進を目的とした**包括連携協定**を締結。その連携事項の一つとして「**高等教育機関の立地に向けた取組に関すること**」を明記。



盛岡市内で開催された締結式



専門学校の候補施設となる市教育センター（鈴子町）

3 包括連携協定締結（2）

【目的】

相互の人的・知的資源の交流により、地域社会の発展、地域の将来を担う人材育成、学術の振興に寄与するとともに、持続可能な開発目標「SDGs」の実現を目指し、互いに連携・協力する。

【連携項目】

- 1 地域活性化に関すること。
- 2 地域産業の振興に関すること。
- 3 高等教育機関の立地に向けた取組に関すること。**
- 4 地域の将来を担う人材の育成に向けた取組に関すること。
- 5 多文化共生社会の実現に向けた取組に関すること。
- 6 地域文化の継承、発展、及びスポーツに関する交流やイベント活動。
- 7 健康、医療及び福祉の充実に関すること。
- 8 前各号に掲げるもののほか、甲乙協議により合意した連携事項に関すること。

4 専門学校について

諸課題と検討策

地方創生

若者の地元定着

SDGsの推進

人口減少・少子高齢化

人材育成

【高等教育機関の設置】

学校名	釜石市国際外語大学校	
場所	市教育センター（鈴子町15-2）	
設置学科	（1）外語観光学科（仮称） （2）日本語学科 ※外国人留学生向け	
定員	合計160名 （1）外語観光学科 40人×2学年 （2）日本語学科 40人×2学年	
設置時期	（1）令和6年4月 ※申請中 （2）令和6年10月 ※申請準備中	

龍澤学館

学校を設置・運営

包括連携協定

釜石市

学校の誘致・開校支援

5 現在の状況及び今後の動き

・開校準備状況

令和5(2023)年4月から釜石市国際外語大学校開校準備に係る龍澤学館関係スタッフが本市活動中。今秋、改修後の旧教育センターに移転して業務開始予定。

・運営会議

令和5(2023)年6月、龍澤学館と釜石市による釜石市国際外語大学校運営会議を設置し、令和6(2024)年度開校に向け、各種準備作業に連携して取り組んでいる。

・外語観光学科

三陸沿岸地域の高校生の地元進路選択など地元定着の可能性を広げたい旨の本市の要望を踏まえ、龍澤学館が協議検討し設置を決定。

・住居

浜町の市営釜石ビルを改修し、釜石市国際外語大学校日本語学科(一部、外語観光学科の市外通学者)の学生寮として活用予定。引き続き、住宅及び通学など学生受入環境の充実を図る。